

# 「ほっしん発心しよう」

茨城県 はんしゅうじ 般舟寺住職 いしかわ だいこう 石川大光

私は總持寺での修行中にお世話になったご老師より、「発心（ほっしん）は一回だけでなく何回してもいい」とのお言葉を頂きとても励みになった思い出があります。

日々の生活の中で、うまくいかなかったり、失敗したりしてしまうと、知らず知らずのうちに気持ちが落ち込んでしまうことがあります。そんな時に私は、ご老師より頂いた「発心」の教えを思い返しています。

「発心」とはほっほだいしん発菩提心という仏教用語の略称であり、悟りを目指すための心を起こす、という意味です。

お釈迦様の教えが現代の我々へと伝わっているのも、歴代の祖師様方が、きっと繰り返し粘り強く発心して教えを受け継ぎ、後の方々に伝えてくださったおかげであるのかと思うのです。

悟り、という言葉ですと難しく感じるかもしれませんが、自分にとっての「こんな風になりたい、なにかを成し遂げたい」など、このような気持ちが起こったならば、その目標に向かって実践を正しく積み重ねることが大切です。

しかし、自分の目標に向かう途中で、様々なことが原因で迷い立ち止まることあるかと思います。そんな時にこそ改めて「発心」して、また進めるよう“初心に戻る”のです。それでもまた躓くことがあれば、また「発心」しましょう。その時はまた違った視点で、これからどのようにするべきか、新たに見えてくるかもしれません。

何か興味を持った事があれば、まずは始めてみることに。きっと自分の視野を広げる新たな気づきや出会いがあるはず。そしてふとした時に、それまで全く関係ないと思っていたことが繋がり、助けになったりと目標に向かって後押しする追い風があったりするものです。

私は、きちんと自分の為すべき行いを積み重ねるならば、自ずと目指す目標へと導かれると信じております。